

文 化

文化と品格を誇れる価値あるまちへ

健康

都市
再生

環境

- 1 芸術文化の創造と発信
- 2 伝統文化・地域文化資源の継承と再創生
- 3 まちの魅力発信によるにぎわいの創出
- 4 地域ブランド創出プロジェクト
- 5 文化を支え、発展させる人材の育成

文化

1 芸術文化の創造と発信

21年度事業費：27,206千円

【目標】

- 文化創造都市宣言の理念を基に、「演劇の街」池袋を世界に向けて発信するとともに、区内各地域に個性ある芸術文化活動の場が形成されている。
- 多くの区民、観客、そして専門家等にも高く評価される高い水準の創作活動が促進されている。

【取組み方針】

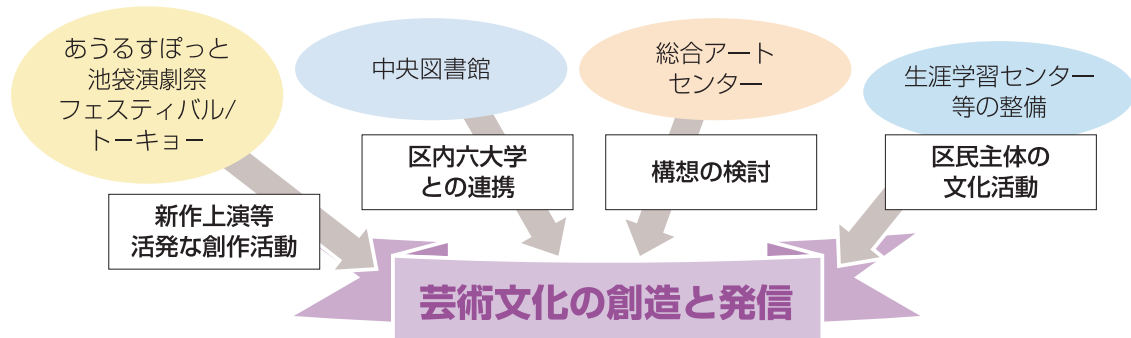
- あうるすぽっと、にしすがも創造舎、区立熊谷守一美術館等を文化施設の核として、芸術文化観賞の機会や文化団体、アーティストが活発な創作活動を繰り広げ、優れた作品を上演・発表する場とする。
- 各文化創造施設で制作上演、展示等を行い、活発な創造活動が展開されるよう働きかけるとともに、中央図書館を文化芸術の発信拠点として位置づけ、個性ある図書館活動を展開する。
- 区内六大学図書館と区立図書館の相互貸借を推進し、地域コンソーシアムの形成を目指す。
- 区民が様々なアートを体験し、その場所から新たなアートを発信できる「総合アートセンター」構想の検討をすすめる。

【主な事業】 ※経費は21年度事業費総額、また、末尾 [番号] は第7章の事業番号に対応

◆ 「池袋わが町」再演助成事業	(拡充)	10,000千円	[287]
◆ 「フェスティバル/トーキョー」開催助成事業	(拡充)	10,000千円	[286]
◆ Echika池袋ギャラリー活用事業	(新規)	2,520千円	[278]
◆ としま図書館ネットワーク事業	(新規)	3,186千円	[310]
◆ 西部複合施設文化拠点準備事業	(新規)	1,500千円	[279]
◆ 総合アートセンター構想の検討			

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
区内の文化創造拠点施設の年間集客数	116万7千人	142万2千人	157万人	160万人
各文化施設で活動する区民、団体等の数	620団体	600団体	▲	▲



平成20年度 文化庁長官表彰「文化芸術創造都市部門」を受賞しました

これは、地域の特色を生かした文化芸術の振興に、住民との協働、企業や大学との協力等により取り組み、他の地域の参考になるような実績を挙げている市区町村を選定、表彰するものです。



21年度事業費：63,136千円

【目標】

- 地域の歴史・文化を大切に継承しつつ、各地域において個性あるまちづくりが展開し、郷土への誇りと愛着が育まれている。

【取組み方針】

- 歴史・文化資源の価値や魅力を、現代の視点から分かり易く伝える工夫を行い、発信し、広く区内外に周知してゆく。
- 池袋モンパルナス、トキワ荘等、地域文化を活かした区民文化活動を、まちづくりにつなげてゆく。

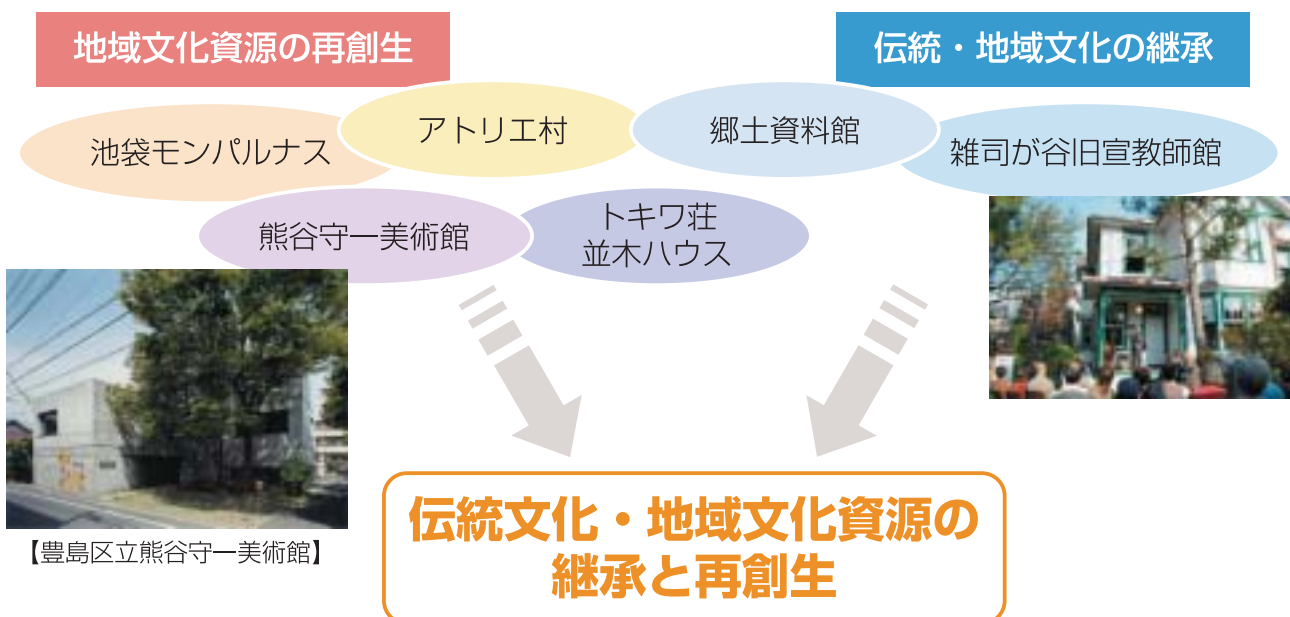
【主な事業】

〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾 [番号] は第7章の事業番号に対応〕

◆ 小熊秀雄作品収集・調査	(継続)	11,124千円	[273]
◆ 区立熊谷守一美術館の管理運営	(継続)	10,794千円	[291]
◆ アトリ工村資料室	(継続)	508千円	[276]
◆ にしすがも創造舎舞台芸術アーカイブ	(継続)	579千円	[277]
◆ 郷土資料館区民利用の情報基盤整備	(拡充)	12,111千円	[283]
◆ 雑司が谷旧宣教師館管理運営事業	(継続)	7,520千円	[284]
◆ トキワ荘・並木ハウス関連事業	(新規)	16,000千円	[280]
◆ 雑司ヶ谷壺園とその界隈のガイド作成	(新規)	1,500千円	[313]
◆ 文化資料基礎調査(文学・まんが分野)	(新規)	3,000千円	[314]

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
郷土資料館、アトリ工村資料室等の 展示会、講座等の回数	14回	14回	▲	▲
自主的な区民活動の参加人数	60人	60人	▲	▲



文化

3 まちの魅力発信によるにぎわいの創出

21年度事業費：43,218千円

【目標】

- 観光や地域産業、都市間交流などと連動した質の高いクリエイティブな情報を発信することで、人の流れを変え、にぎわいを創出し、常に新たな活力が生まれている。

【取組み方針】

- まちの祭り、イベント等による魅力発信のため、観光協会や商店街等の地域団体ならびに民間企業と連携して、多彩な情報発信を行い、豊島区のイメージアップと集客力の向上を図る。

【主な事業】

〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾「番号」は第7章の事業番号に対応〕

◆ 観光イベント支援（ふくろ祭り、大塚阿波踊り等）	（継続）	36,018千円	253
◆ 新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館事業	（継続）	7,200千円	252
◆ （再掲）Echika池袋ギャラリー活用事業	（新規）	2,520千円	278

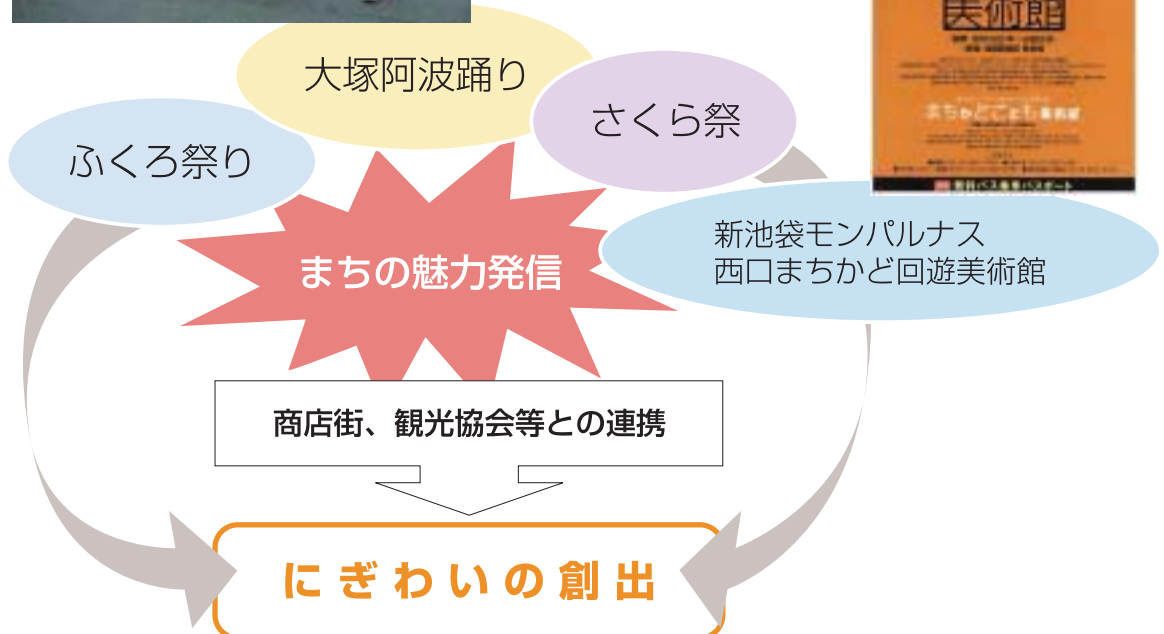
【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
年間のイベント数	10回	10回	維持に努める	維持に努める
参加者数、集客の概数	135万人	155万人	▲	▲

【大塚阿波踊り】



【新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館】



21年度事業費：14,778千円

【目標】

- 地域ブランドが向上し、“住みたいまちとしての評価”が高まっている。
- 定住人口を増加させることで“地域力”が高まり、“持続可能な財政構造の構築”につながっている。

【取組み方針】

- 誰もが「住みたい」と思う「価値あるまちづくり」の実現に向け、ソフト・ハード両面から組織横断的にプロジェクトを展開する。
- 区内でも住宅地として高いブランド力を有する目白・駒込をはじめ、地域資源を生かし、地域区民との協働によりプロジェクトを推進する。
- 「地域固有の価値と魅力」を「地域ブランド」と位置づけ、地域資源を活用した効果的・戦略的なアピールを図っていく。

【主な事業】 ※経費は21年度事業費総額、また、末尾 [番号] は第7章の事業番号に対応

◆ 地域ブランド創出支援事業	(継続)	12,739千円	[215]	[272]
◇駒込地区(継続)：駒込ブランドプロジェクト実行委員会支援				
◇目白地区(継続)：ブランディング講座の実施、「学習院椿の坂」景観整備、「F.L.ライトの小路」整備				
◆ 豊島・美しい街並みづくり大賞	(継続)	2,039千円	[183]	

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
プロジェクト実施地域の人口増加(前年比)	駒込 +1,168人 目白 +895人	駒込 +222人 目白 +62人	▲	▲
土地の公示価格	住宅地変動率+0.9%	住宅地変動率+12.9%	▲	維持に努める

駒込地区の公園・広場づくり



文化

5 文化を支え、発展させる人材の育成

21年度事業費：75,664千円

【目標】

- 魅力的な文化芸術活動や生涯学習活動を企画・創造するとともに、地域の創造活動を推進するため、専門的な知識を持った人材が育っている。
- 次世代文化の担い手として重要な子どもたちが、文化芸術に触れ、豊かな人間性を育んでいる。

【取組み方針】

- 文化活動を行うボランティアや、文化芸術を支えるスタッフ機能をはたす人材の育成を図るとともに、若手アーティストの活動を支援する。
- 区民が自ら参加し、創造・発表する多様な機会を提供し、人と人が出会い交流することで、文化活動を活発化させる。
- 子どもたちが身近な学校や地域で、優れた文化芸術に触れ、体験する多様な機会を提供することで、文化芸術への理解を深め、豊かな感性を育むことをめざす。

【主な事業】 ※経費は21年度事業費総額、また、末尾 [番号] は第7章の事業番号に対応

◆ としま文化フォーラム助成事業	(継続)	2,000千円	[298]
◆ 「としま区民芸術祭」への助成事業	(継続)	48,906千円	[299]
◆ 文化芸術創造支援事業	(継続)	3,291千円	[292]
◆ 文化ボランティアの育成事業	(継続)	2,000千円	[295]
◆ 区民参加によるアート・ステージ事業	(継続)	7,314千円	[297]
◆ 「クラシックバレエとの出会い」	(継続)	974千円	[294]
◆ 子どものための文化体験プログラム	(継続)	8,979千円	[293]
◆ 「次世代文化の担い手」育成事業	(継続)	2,200千円	[120]

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
文化体験プログラム等に 参加した子どもの数	1,120人	1,295人	↗	↗
文化ボランティアの活動数	20ヶ所	25ヶ所	↗	↗
地域文化創造館、体育館等の 団体登録数	1,337団体	1,224団体	↗	↗

